

2021 年度・芸術工学実習(D)4 後半の進め方 (情報環境デザイン学科)

■ テーマ

共通課題：「備える」

■ 参加教員

学科所属全教員

■ スケジュール

第1週：11/18 ガイダンス，課題について [M101]

第2週：11/25 学生の発表1（全員，2分）（15点）[M101] (*1)

第3週：12/02 実作業・相談 [M101]

第4週：12/09 学生の発表2（2グループに分れて(*1)，3分）（20点）

第5週：12/16 実作業・相談 [M101]

第6週：12/23 学生の発表3（2グループに分れて(*1)，3分）（20点）(*2)

第7週：01/13 実作業・相談 [M101]

第8週：01/20 講評会（全員，3分）（45点）[M101]

【教員グループ】

グループA：神沼、栗原、小鷹、小林、埴

グループB：作間、中川、水野、横山

	第4週(12/09)	第6週(12/23)
学籍番号奇数	グループA [セミナールーム]	グループB [セミナールーム]
学籍番号偶数	グループB [M101]	グループA [M101]

(*1) 11/25 の発表では、発表用の資料として A4 用紙 1 枚を書画カメラで映してプレゼンテーションを行うこととする。資料の作成については P3 を参照のこと。

(*2) 12/23 の発表では、**制作物のプロトタイプ**の呈示を条件とし、これを評価の基準とする。

■ 発表の際の注意事項(2・4・6週)

- ・ 発表は原則対面で行います。対面発表において、発表者が Zoom を使用する必要はありません。やむを得ない事情で遠隔での発表を希望する学生は、当日の朝 9 時までに中川 (nakagawaryu@sda.nagoya-cu.ac.jp) に連絡してください。授業開始前に Zoom による接続方法を指示します。

■ 相談の際の注意事項(3・5・7 週)

- ・ 相談は、原則遠隔で行います。授業開始後 5 分の間に、相談希望の教員の Zoom に入室し、時間調整を行ってください。二人以上の教員との相談を希望する学生は、都合の良い時間に対象となる教員の Zoom に入室し、教員の相談状況に応じて、チャットなどを通して教員と時間調整を行ってください。
- ・ 実物を見せる必要がある場合は対面による相談を認めます。対面を希望する学生は、Zoom での時間調整の段階で、場所の調整も同時に行ってください。
- ・ 各教員の Zoom のアドレスは、WEB で公開します。基本的に各教員は、授業時間内には Zoom を開いておき、二人目以降の入室に対応できるようにします。

■ 注意事項

- ・ 実作業・相談の回は、最低一人の教員への相談を行うことで出席とみなされます(教員の側で名簿のチェックを行います)。
- ・ 病欠の場合は、事後に診断書を提出してください。
- ・ 授業に関する質問や診断書の提出は中川 (nakagawaryu@sda.nagoya-cu.ac.jp) へ

学生の発表 1 発表用の資料について

1. 発表資料の要件

- 原則として A4(横使い)1 枚にまとめること。
- ワードソフトなどを用いて電子的に作成すること。
手書きは不可とする。
- 図表は、手描き以外の方法では作成が難しい場合
(例えばドローイングなど)を除いて、電子的に作成
すること。
- 20pt 以上の可読性が高いフォントを使用すること。
- 可読性の高い配色にすること。以下は、論外な配色
の典型的な例である。

例) ダメな例 1、ダメな例 2、**ダメな例 3**

2. その他

- 必要に応じて、書画カメラに映せる補助資料(例えば
モック、タブレットなど)を使用してもよい。